

1. 貝塚公園既存施設あり方検討会の概要

(1) 目的

貝塚公園既存施設のあり方検討会(以下、検討会)は、次に掲げる事項について委員から参考となる意見を収集する。

- ・貝塚公園の再整備にあたり、既存施設の取扱いに関する事項
- ・その他、委員が必要と認める事項

(2) 委員構成 (敬称略、五十音順)

氏 名	役 職 名	備 考
市原 猛志	熊本学園大学 商学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授	箱崎キャンパス跡地利用協議会歴史と緑継承部会委員 日本機械学会 機械遺産委員会委員
佐田 直樹	一社) 日本公園施設業協会 九州・沖縄支部事務局元局長	
馬場 公司	東箱崎校区団体協議会長	箱崎キャンパス跡地利用協議会 まちづくりマネジメント部会委員
箱嶋 次雄	箱崎公民館長	箱崎キャンパス跡地利用協議会 歴史と緑継承部会委員
柳 優香	弁護士	福岡市子ども・子育て審議会委員

(3) 検討会の内容

1) 第1回

【日時】 令和6年8月21日(水) 10:00~12:00
【場所】 福岡市役所
【検討内容】・対象施設の紹介
・施設の評価方法(案)について



2) 第2回

【日時】 令和6年10月11日(金) 10:00~12:00
【場所】 貝塚公園及びのむら貝塚ガーデンシティ
【検討内容】・現地確認
・各施設の評価(案)について



3) 子ども・子育て世代との意見交換会

【日時】 令和6年10月27日(日) 10:20~12:00
【場所】 のむら貝塚ガーデンシティ
【参加】 親子7組(大人10名、子ども10名)
【内容】・今の遊具等をどうする?
・今後の貝塚公園をどうする?



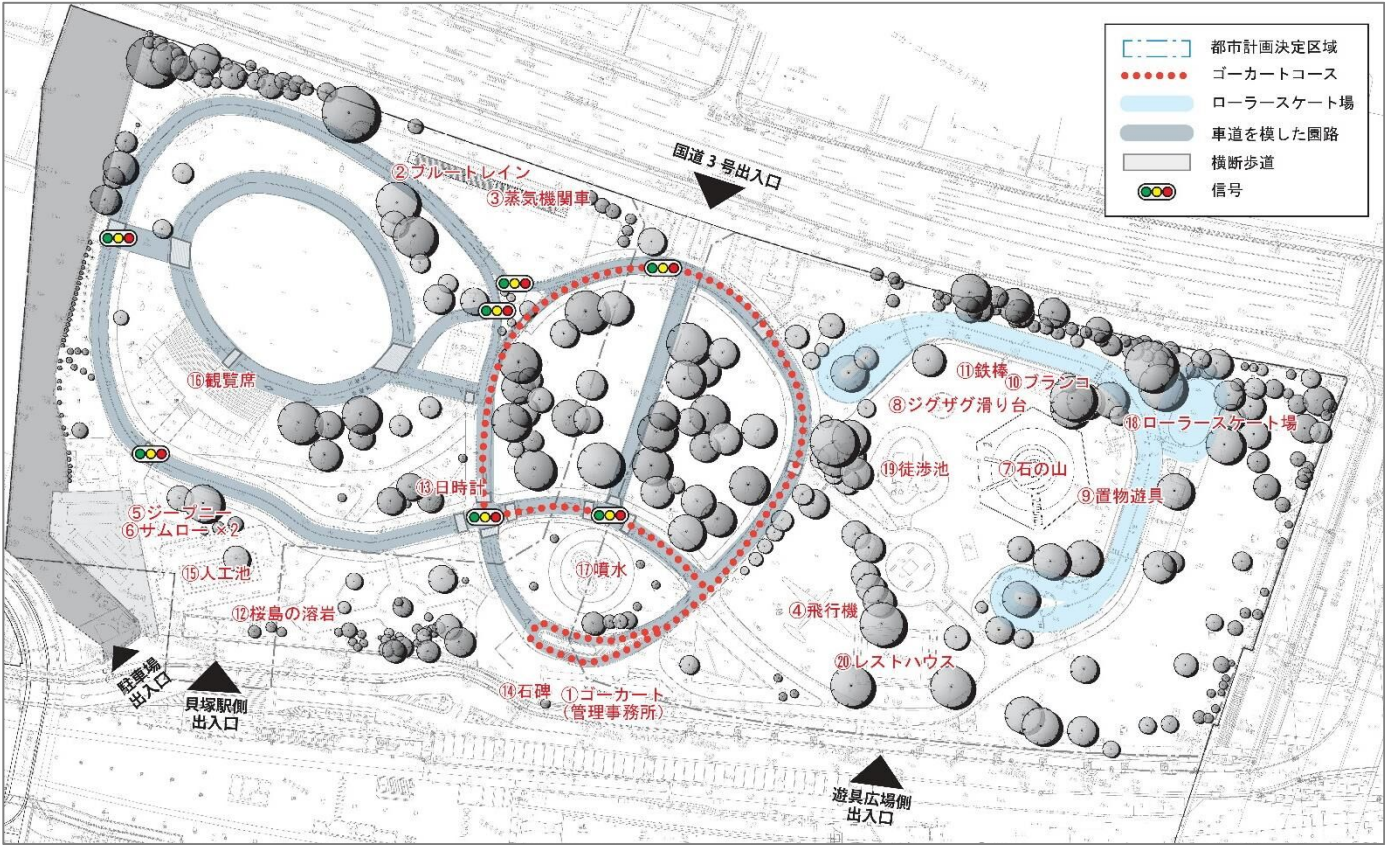
4) 第3回

【日時】 令和7年1月24日(金) 10:00~12:00
【場所】 福岡市役所
【検討内容】・対象施設の取扱いに関する意見の確認



(4) 対象施設 (計 20 施設)

所在地：福岡市東区箱崎7丁目 公園種別：近隣公園 面積：39,358㎡ 開園年度：1967年



2. 評価方法

(1) 既存施設のあり方

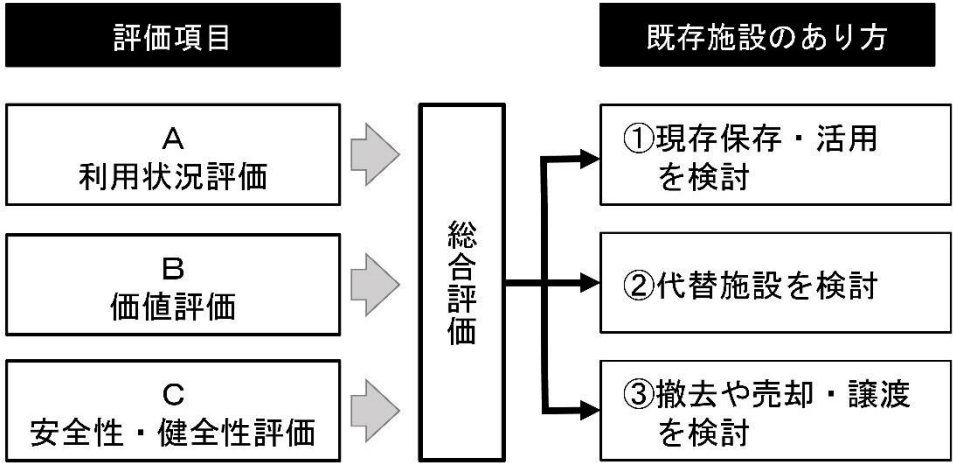
貝塚公園再整備後の個別施設の取扱いについては、施設の状況を踏まえて、以下の取扱い案の中から適切なものを選定する。

- ①現存保存・活用を検討（貝塚公園内で既存の施設を保存・活用する。）
- ②代替施設を検討（既存の施設と同様・同類の施設を整備する。）
- ③撤去や売却・譲渡を検討

(2) 施設の評価方法

施設の評価は、以下の内容及びフローに基づいて検討する。

「評価項目 A：利用状況」として、施設の利用者数や、利用者アンケートによる利用者の声等を用いて評価する。
「評価項目 B：価値」として、施設の歴史的・文化的価値や、インターネット検索状況等を用いて評価する。
「評価項目 C：安全性・健全性」として、施設の安全基準の適合性や、維持管理の内容等を用いて評価する。
「総合評価」として、上記 3 つの評価を施設の種類ごとに重み付けを行い、既存施設のあり方を検討する。



評価項目	内容																																																												
A 利用状況	平日と休日の利用者数の合計を算出し、全 20 施設の順位「利用者・見学者数」を整理し、以下、3 つの評価を基本とする。 <table><thead><tr><th>施設名</th><th>合計</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>石の山</td><td>1378</td><td>28%</td></tr><tr><td>徒渉池</td><td>657</td><td>13%</td></tr><tr><td>ゴーカート</td><td>546</td><td>11%</td></tr><tr><td>ジグザグ滑り台</td><td>384</td><td>8%</td></tr><tr><td>プランコ</td><td>340</td><td>7%</td></tr><tr><td>レストハウス</td><td>306</td><td>6%</td></tr><tr><td>ブルートレイン 蒸気機関車</td><td>284</td><td>6%</td></tr><tr><td>置物遊具</td><td>247</td><td>5%</td></tr><tr><td>観覧席</td><td>183</td><td>4%</td></tr><tr><td>飛行機</td><td>136</td><td>3%</td></tr><tr><td>鉄棒</td><td>127</td><td>3%</td></tr><tr><td>噴水</td><td>114</td><td>2%</td></tr><tr><td>ジープニー・サムロー</td><td>84</td><td>2%</td></tr><tr><td>ローラースケート場</td><td>43</td><td>1%</td></tr><tr><td>日時計</td><td>27</td><td>1%</td></tr><tr><td>人工池</td><td>23</td><td>0%</td></tr><tr><td>桜島の溶岩</td><td>8</td><td>0%</td></tr><tr><td>石碑</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>合計</td><td>4887</td><td>100%</td></tr></tbody></table> 「高」 「中」 「低」 利用者数 「低」 利用者数 「中」 利用者数 「高」	施設名	合計	割合	石の山	1378	28%	徒渉池	657	13%	ゴーカート	546	11%	ジグザグ滑り台	384	8%	プランコ	340	7%	レストハウス	306	6%	ブルートレイン 蒸気機関車	284	6%	置物遊具	247	5%	観覧席	183	4%	飛行機	136	3%	鉄棒	127	3%	噴水	114	2%	ジープニー・サムロー	84	2%	ローラースケート場	43	1%	日時計	27	1%	人工池	23	0%	桜島の溶岩	8	0%	石碑	0	0%	合計	4887	100%
	施設名	合計	割合																																																										
	石の山	1378	28%																																																										
	徒渉池	657	13%																																																										
ゴーカート	546	11%																																																											
ジグザグ滑り台	384	8%																																																											
プランコ	340	7%																																																											
レストハウス	306	6%																																																											
ブルートレイン 蒸気機関車	284	6%																																																											
置物遊具	247	5%																																																											
観覧席	183	4%																																																											
飛行機	136	3%																																																											
鉄棒	127	3%																																																											
噴水	114	2%																																																											
ジープニー・サムロー	84	2%																																																											
ローラースケート場	43	1%																																																											
日時計	27	1%																																																											
人工池	23	0%																																																											
桜島の溶岩	8	0%																																																											
石碑	0	0%																																																											
合計	4887	100%																																																											
B 価値	さらに、利用者アンケートにおける利用目的や、対象施設への意見、対象施設のイベント活用等を考慮し、評価する。 以下、3 つの評価を行う。 「高」：有識者や関係者ヒアリング等により“歴史的・文化的価値がある”とされた施設、または、インターネット検索調査において多く名前が挙がった施設。 「中」：施設そのものの価値は低いが、利用することに価値が見出されている施設。 「低」：ヒアリング等において“価値はない”とされた施設、または、インターネット検索調査において名前が挙がってこなかった施設。																																																												
C 安全性・健全性	施設の劣化状況や機能の有効性、安全規準の適合性等を有識者や関係者ヒアリング等により調査し、以下、3 つの評価を行う。 「高」：施設の状態・機能が健全である施設、または、安全規準を満たす施設。 「中」：施設の劣化や機能低下は見られる、もしくは、安全規準は満たしていないが、補修・改修により健全な状態になる、または安全規準を満たす施設。 「低」：施設の劣化や機能低下が著しい、もしくは、安全規準を満たしておらず、改修しても安全性・健全性を確保できない施設。 ※国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に準拠して、日本公園施設業協会が「遊具の安全に関する規準」（安全規準）を定めている。安全規準では、「重大な事故につながるおそれがあるハザードを発見した場合は、適切な措置を講ずること」となっており、本検討でも同規準に従うものとする。																																																												

貝塚公園既存施設のあり方検討会 対象施設の取扱いに関する意見

3. 利用実態調査（意見交換会の情報含む）

(1) 利用実態調査

1) 調査日時

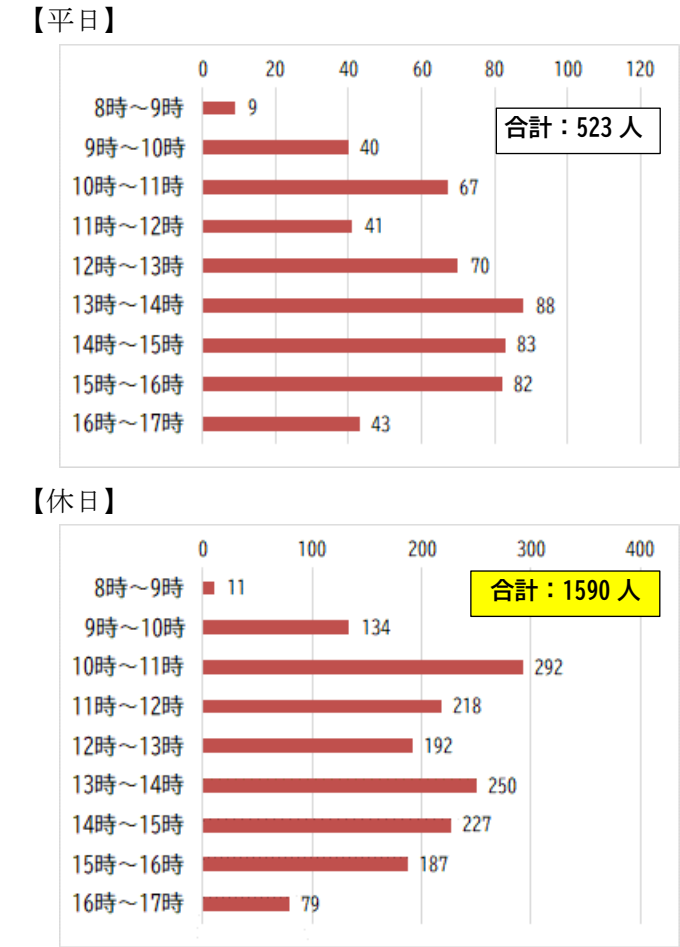
下記の日程で、公園利用者数や活動内容、利用者へのアンケート等を調査した。

平日調査：令和6年3月14日（木） 貝塚公園開門（午前8時ごろ）～閉門（午後5時）

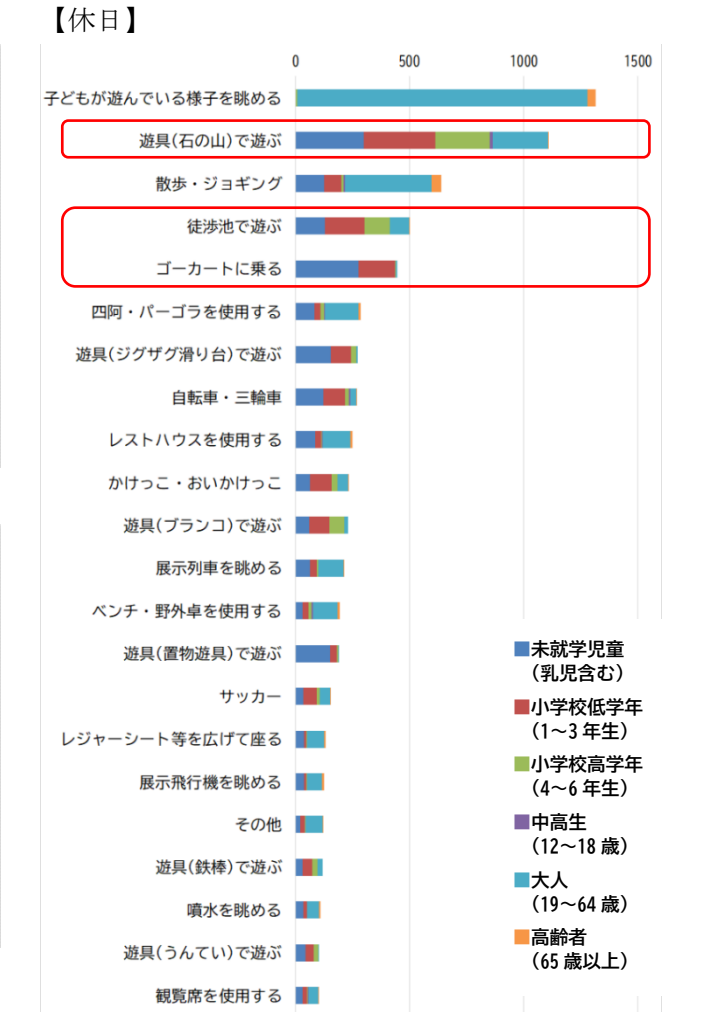
休日調査：令和6年3月10日（日） 貝塚公園開門（午前8時ごろ）～閉門（午後5時）

2) 利用実態調査結果

①利用人数



②活動内容ごとの利用者・見学者(100件未満は省略)



③利用者層

	未就学児童	小学校低学年	小学校高学年	中高生	大人	高齢者	合計
平日	283 (13%)	811 (38%)	153 (7%)	56 (3%)	808 (38%)	41 (2%)	2152 (100%)
休日	2061 (27%)	1550 (20%)	656 (9%)	60 (1%)	3122 (41%)	143 (2%)	7592 (100%)

④住まいの地域

	東箱崎校区	箱崎校区	松島校区	筥松校区	その他東区	その他福岡市	県内	県外	合計
割合	6%	8%	3%	8%	35%	25%	15%	2%	100%

⑤交通手段

	徒歩	自転車	電車・地下鉄	バス	自家用車	バイク	合計
割合	12%	3%	10%	1%	75%	0%	100%

⑥自由意見

- ・ゴーカートがお気に入り（交通ルールが学べる、安い等） 43件
- ・遊具がお気に入り（他ではない遊具がある、たくさんある等） 16件
- ・遊具が古い 6件
- ・石の山がお気に入り（珍しい、すべり台の角度が急で良い等） 6件
- ・石の山危ない、大きな滑り台の上に柵がない
- ・新しい遊具が欲しい（幼児向け遊具、小さい子も遊べる大きいジャングルジム等） 13件
- ・駐車場を改善して欲しい（どこまで停めていいかわからない、駐車台数が少ない等） 14件
- ・トイレを改善して欲しい 33件
- ・飲食ができる施設が欲しい(カフェ、売店、パン屋さん等) 18件 等

(2) 子ども・子育て世代との意見交換会の概要

地域の子どもや保護者から既存施設のあり方等についての意見を伺い、検討会へ報告した。

【主な意見(抜粋)】

	案①	案②	案③
石の山	・高い山が良い。 ・上の段で鬼ごっこなど危ない遊びが子どもは好きだが、山の反対側が見えないので、複数の子どもを見守りにくい。 ・滑り台は初めての利用者(特に大人)にとって危険であり、前のめりで飛んでしまうシーンを何度も見た。 ・柵をすると遊びが制限されるのでつまらない。	・貝塚公園らしさを象徴するため、山の形は残したい。 ・芝生を転がれる。 ・山の頂上が広いため、高学年がいるなかでも低学年の子どもを遊ばせることができる。 ・親が子どもを見守りやすい。	・沢山遊具があり、対象年齢が広そうだから良い。 ・下の見通し良い方が見守りがしやすい。 ・高学年向けだから、低学年は遊びにくい。 ・どここの公園にもある。
ゴーカート	・幼児も乗れて楽しいため残して欲しい。 ・以前のようにコースをもっと長くして欲しい。 ・台数を増やして欲しい。		
ブランコ	・残して欲しい。 ・公園の規模に対して少ないため、沢山欲しい。 ・小さい子用や子どもから大人まで利用できるのが欲しい。		
ブルートレイン・蒸気機関車	・貝塚公園の象徴だと思う。 ・良い状態で保存されるよう維持管理をきちんとして欲しい。 ・見るだけでなく、子どもが乗れたら良い。 ・クラウドファンディングが続けられると良い。		
ジグザグ滑り台	・上で子どもが動けなくなった時、親が上に行けるような別の遊具にして欲しい。		
置物遊具	・小さい子達が遊んだり、写真を撮ったりできるので、更新して残して欲しい。		
鉄棒	・なくしてもいいと思う。 ・小学校にあるが、周囲の公園にはないので残して欲しい。		
レストハウス	・自動販売機は欲しい。 ・真ん中の元売場が邪魔で見守りがしにくくて使いづらかった。		
徒渉池	・なくしていいと思う。 ・水は綺麗にして欲しい。		
飛行機	・なくしてもいいと思う。		
ジープニー	・なくしてもいいと思う。		
日時計	・もっと活用できるものになって欲しい。		
噴水	・噴水や池（水遊び用）を使えるようにして欲しい。		
ロースケート場	・練習できる場は残して欲しい。		

4. 各施設の評価

ブルートレイン

(1) 施設の概要

ブルートレインは寝台特急「あさかぜ」号として東京～九州を結ぶ寝台特急に使用された後、九州の門司港～西鹿児島(現在の鹿児島中央)間を結ぶ寝台特急「かいもん」として活躍した車両であり、1990年(平成2年)にJR九州旅客鉄道株式会社から無償貸与により設置した。寝台車の先駆けて初代ブルートレインであるため、大変貴重なものであると言われている。有志の民間団体により2回の改修が行われており、比較的美観を保っている。なお、床下全体にアスベスト(アンダーシール)が確認されたが、飛沫の恐れはないとして経過観察を行っている。

年2回の車内公開イベントを行っている。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価……………「高」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は284人であり、見学者数は普通だが、車内公開イベントを定期的に開催。

B：価値評価……………「高」

初代ブルートレインとして寝台車の先駆け。寝台特急「あさかぜ」号として東京～九州を運行。後に寝台特急「かいもん」として門司港～西鹿児島間を運行。当該車両は本車両と合わせ全国に2両のみ。利用者アンケートでは、「残して欲しい」という意見があり、子ども・子育て世代との意見交換会では、「貝塚公園の象徴」との意見も。インターネット出現数220件。

C：安全性・健全性評価…「中」

過去2回、有志の民間団体やクラウドファンディングにより改修。支援者が定期的に清掃し美観を維持。床下にアスベストがあり、継続的な補修が必要。保存に関するノウハウが蓄積されているので、サビ等の補修は比較的容易。

総合評価……………『現存保存・活用を検討』

全国的にも数が少ないため価値が高く、定期的な車両公開イベントが開催される等、利用状況の評価も高い。また、保存・補修技術のノウハウも多くあるため現存保存を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

- ・老朽化の進行を抑えるため、雨風を防ぐ屋根の設置や新たな魅力向上に向けた活用も検討すること。
- ・所有者であるJR九州やこれまで保全活動を行っていただいている方々にも意見を聞きながら慎重に進めていくこと。

蒸気機関車

(1) 施設の概要

蒸気機関車は1974年(昭和49年)に国鉄(現：JR九州旅客鉄道株式会社)から無償貸与により設置した。主に石炭輸送に活躍していた車両である。塗装等の補修を行っているが、部分的に塗装剥離やサビ等の進行が見られる。なお車両のアスベストについては、撤去もしくは封じ込め処置を完了している。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価……………「中」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は284人であり、見学者数は普通である。

B：価値評価……………「高」

石炭輸送に利用され吉塚の車両基地を出入り。利用者アンケートでは、「間近で電車を見ることができるのは楽しい」という意見が多く、子ども・子育て世代との意見交換会では、「貝塚公園の象徴」との意見も。インターネット出現数106件。

C：安全性・健全性評価…「低」

アスベストの有無は不明だが封じ込め処理は実施済み。継続的な補修が必要。部分的に塗装剥離やサビ等の進行。保存に関するノウハウが蓄積されているので、サビ等の補修は比較的容易。

総合評価……………『現存保存・活用を検討』

価値は高いが、利用者数が高くない。一方でブルートレインと並んだ風景は貝塚公園の象徴であるため、ブルートレインの動向等を踏まえ現存保存を検討する。

ブルートレイン、蒸気機関車関連の現存保存・活用事例

事例1：屋根の設置

トタンの覆屋
(約1,000万円/100㎡)



テント地の覆屋
(約2,500万円/100㎡)



事例2：活用

カフェへの転用(約1,000万円)



大牟田市ホームページより

パン屋への転用



宿泊施設への転用



ブルートレインたらぎホームページより

貝塚公園既存施設のあり方検討会 対象施設の取扱いに関する意見

日時計

(1) 施設の概要

日時計は1980年（昭和55年）に福岡東ロータリークラブ設立10周年記念で設置した施設であり、2011年（平成23年）には福岡東ロータリークラブ設立40周年記念としてタイムカプセルを封入した。一部ビスの飛出しや、緑石がぐらついているが比較的健全な状態である。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「中」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は27人であり、見学者は少ないが、タイムカプセルの開封イベントを開催。

B：価値評価 …… 「高」

福岡東ロータリークラブからの寄贈。日時計は珍しい施設であり、子どもたちの教育(理科)にも良い。寄贈元からは「引き続き残して欲しい」との要望を受けている。

C：安全性・健全性評価 …… 「中」

本体は比較的健全な状態であるが、見方の説明プレート等が破損。

総合評価 …… 『現存保存・活用を検討』

見学者は少ないが寄贈物としてタイムカプセルが収納され、子どもたちの教育にも寄与する。また、寄贈元から「引き続き残して欲しい」との要望もあるため、現存保存を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・説明板の設置や部分的な補修等も検討すること。

桜島の溶岩

(1) 施設の概要

桜島の溶岩は1980年（昭和55年）桜島町（現：鹿児島市）からの寄贈により設置した。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は8人であり、見学者は少ない。

B：価値評価 …… 「中」

旧桜島町からの寄贈品。貝塚公園との関連性は低い。

C：安全性・健全性評価 …… 「高」

特筆する問題は無い。

総合評価 …… 『現存保存・活用を検討』

見学者が少ないが、特に危険な施設でもないため、現存保存・活用を検討する。

ゴーカート

(1) 施設の概要

ゴーカートは1973年（昭和48年）から運営が始まり、児童が交通知識及び交通道徳を楽しみながら会得することを目的として設置されたと推測される。当初はバッテリーカー33台と足踏みゴーカート10台が整備されていたが、故障や老朽化等により、現状は電動ゴーカート5台が稼働している。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「高」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は546人であり、利用者が多い。

B：価値評価 …… 「中」

車両の価値はないが、交通ルールを楽しく学べる公園施設として、貝塚公園の象徴となっている。

利用者アンケートでは、「残して欲しい」という意見が多く、子ども・子育て世代との意見交換会でも同様の意見あり。インターネット出現数197件。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

車両は30年程度経過し老朽化が著しく、近年、故障が相次ぎ台数が大幅に減少。幼児用のゴーカートとしては走行速度が速く危険。

総合評価 …… 『代替施設を検討』

利用状況が高く、交通ルールを学べる場として利用者に親しまれているが、現車両は安全性・健全性が低いため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・これまで通りの幼児用ゴーカートと合わせ、公園利用者層の拡大や貝塚公園に隣接する九州大学箱崎キャンパス跡地の公募において多様なシェア型パーソナルモビリティの提案がなされていることを踏まえパーソナルモビリティ等の導入も検討すること。

代替施設案

事例1：幼児用ゴーカート	 対象年齢 3～6 才向け (約 300 万円/5 台)	 対象年齢 5～7 才向け (約 400 万円/5 台)	 対象年齢 7～12 才向け (1000 万円/5 台)
事例2：小学生以上を想定した新たな乗り物	 小型モビリティ (約 200～250 万円/5 台)	 電動キックボード (100 万円/5 台)	 自動運転歩行速モビリティ (約 4500 万円/5 台)

石の山

(1) 施設の概要

石の山は1967年に設置されたコンクリート製の大型遊具である。登り方が「石の突起やくぼみを使う」「山の斜面を駆け上がる」「鎖を使う」「階段」等幾通りもの方法があり、すべり台(高さ3.5m)が2本ある。頂上にはジャングルジムがあり、見晴らしが楽しめる。

躯体はコンクリート製で、部分的にクラックが生じる等、全体的な劣化が進んでおり、「遊具の安全に関する規準」(安全規準：(一社)日本公園施設業協会 2024年4月)に抵触している。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「高」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は1378人であり、利用者が多い。

B：価値評価 …… 「高」

この規模の石の山遊具は市内では存在しない。子ども・子育て世代との意見交換会では、「残して欲しい」との意見がある一方で「危険」との意見も多かった。インターネット出現数42件。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

安全規準に抵触(落下防止柵無し、頭部の挟み込み、コンクリート製等)。クラックがあり、劣化も進行。利用者アンケートでは危険性から幼児用遊具を求める意見も。

石の山 現況

▽：劣化状況
▼：安全規準等に抵触
※安全規準は一般社団法人日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規準」を参照する。

平面図

▼落下高さの超過
規準：3.0m未満
現況：3.5m

▼落下防止柵の高さ不足
規準：1.1m以上
現況：0.62m

リングトンネル
▽部材の腐食
▼遊具は固い設置面に設置してはならない
▼胴体は入り、頭部が抜けない構造

ジャングルジム
▽部材の腐食
▼基礎の露出
▼遊具は固い設置面に設置してはならない
▼不意に衣服の一部やかばんのヒモ等に絡まったり掛かったりする構造

すべり台
▼減速部の長さ不足
▼すべり面終端部の高さ不足
▽胴体のひび割れ
▼落下防止対策の不足
規準：落下高さ2.0mを超える部分は落下防止対策を講じなければならない。
現況：対策なし

階段
▼胴体が入り、頭部が抜けない構造
▼頭部または首が挟み込む構造
▼階段には中間踊り場を高さ3.0m以内に設けなければならない。
規準：3.5m 0.5m以上の踊り場 3.0m以内 3.5m
現況

安全領域
▼安全領域不足
規準：遊具より1.8m確保
現況：1.0mの位置に縁石あり
▼安全領域内にくぼみや段差がある

ステップ
▼胴体が入り、頭部が抜けない構造
▼衝突・転倒が想定される箇所への衝撃緩和
規準：遊具を構成する構造部材は必要に応じて衝突対策を検討し、衝撃緩和に配慮しなければならない。
現況：転倒した場合、コンクリート面で負傷する恐れがある。また、濡れた状態では斜面が滑りやすく、危険である。

▽胴体のひび割れ

▽胴体のひび割れ

▽胴体のひび割れ

▽胴体のひび割れ

資料 3-2

総合評価…………… 『代替施設を検討』

利用状況、価値が高いが、安全性・健全性が低いため、代替施設を検討する。

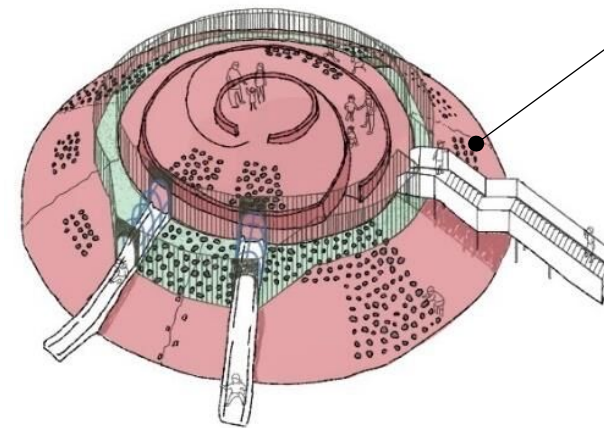
【検討にあたっての留意事項】

- ・現存保存は困難である中で、地域住民から残して欲しいとの声もあり、安全規準を満たしていない危険箇所を排除する案を検討したが、立ち入り禁止区域等遊びの制限や大幅な改修が生じる。
- ・これらの内容を考慮した上で、利用者の声や地域説明を踏まえ、検討を進めること。

代替施設案 (良い点、気になる点)

案① 安全規準を満たしていない危険箇所の排除

概要：劣化箇所の補修、ジャングルジムやリングトンネルの撤去、転落防止柵や階段等の新設



★子ども・子育て世代との意見交換会での意見

- ・高い山が良い
- ・複数の子どもを見守りにくい
- ・滑り台は初めての利用者(特に大人)にとって危険
- ・柵をすると遊びが制限されるのでつまらない。

案② 新しい築山を整備

概要：既存の山の形を活かして芝生等の山を整備、「登る」「滑る」等の要素がある遊具を設置

★子ども・子育て世代との意見交換会での意見

- ・貝塚公園を象徴するため、山の形は残したい
- ・山の頂上が広いので、低学年を遊ばせやすい
- ・芝生を転がれる
- ・子どもを見守りやすい



案③ 複合遊具を整備

概要：石の山の遊びの要素がある複合遊具を設置



★子ども・子育て世代との意見交換会での意見

- ・沢山遊具があり、対象年齢が広そう
- ・見通し良いため、見守りがしやすい
- ・低学年は遊びにくい
- ・どこの公園にもある

貝塚公園既存施設のあり方検討会 対象施設の取扱いに関する意見

ジグザク滑り台

(1) 施設の概要

ジグザグ滑り台は 1985 年(昭和 60 年)に姉妹都市記念としてオークランド市 (USA) の贈与により設置した変形すべり台である。経年劣化により出発部や滑降部の一部に腐食が見られるほか、安全領域の不足や頭部・胴体が挟み込まれる構造がある等、安全規準に抵触する。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「中」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 384 人であり、利用者数は普通である。

B：価値評価 …… 「高」

オークランド市から寄附。

C：安全性・健全性評価… 「低」

安全規準に抵触（落下防止柵無し、頭部の挟み込み等）。一部に腐食。子ども・子育て世代との意見交換会では、「親が上に行けるようにしてほしい」との意見あり。

総合評価 …… 『代替施設を検討』

オークランド市からの寄贈品であるが、公園では一般的な施設。安全性・健全性も低いため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・オークランド市へ配慮しながら進めるとともに、再整備を計画する中で、全体的な遊具配置等を踏まえ検討すること。

置物遊具

(1) 施設の概要

置物遊具は動物を模した遊具であり、1980 年(昭和 55 年)ロータリークラブからの寄贈により設置した(10 基)。なお、どこからの寄贈かは不明。躯体の端部が欠け、鉄筋が露出しており、塗装剥離があり全体的な劣化が進んでいる。安全領域の不足等、安全規準に抵触する



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 247 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「中」

ロータリークラブから寄附。子ども・子育て世代との意見交換会では、「小さい子達が遊べるので残してほしい」との意見あり。

C：安全性・健全性評価… 「低」

安全規準に抵触（安全領域）。躯体の破損等劣化が進行している（一部健全な置物もあり）。

総合評価 …… 『代替施設を検討』

ロータリークラブからの寄贈品であり、小さい子が遊べる数少ない遊具であるが、安全性・健全性が低いため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・再整備を計画する中で、一部、健全な置物については、現存保存も含め、小さい子も楽しめるよう全体的な遊具配置等を踏まえ検討すること。

ブランコ

(1) 施設の概要

4 連ブランコで一般的な遊具である。支柱部や梁部、吊り部、チェーン等の腐食が著しく、安全領域の不足や基礎露出等、安全規準に抵触する。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「中」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 340 人であり、利用者数は普通である。

B：価値評価 …… 「低」

一般的な公園施設。子ども・子育て世代との意見交換会では、「残して欲しい」「幅広い年代が利用できるようにしてほしい」との意見あり。

C：安全性・健全性評価… 「低」

安全規準に抵触（安全領域）。

総合評価 …… 『代替施設を検討』

利用状況は普通だが、安全性・健全性が低い。公園では一般的な施設であるため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・再整備を計画する中で、全体的な遊具配置等を踏まえ検討すること。

徒渉池

(1) 施設の概要

徒渉池は土管等を組み合わせたアスレチックができる施設であり、かつては水の遊び場でもあった。水循環装置が故障しているため、水の供給は止めているが、雨水がたまり、衛生環境は悪い。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「高」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 657 人であり、利用者が多い。

B：価値評価 …… 「低」

アンケート調査やインターネット出現数は少ない。

C：安全性・健全性評価… 「低」

クラックや塗装剥離。水循環装置が故障しているため、水が溜まり不衛生。

総合評価 …… 『代替施設を検討』

利用状況は高いが安全性・健全性が低いため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

・再整備を計画する中で全体的な遊具配置等を踏まえ、徒渉池の遊びの要素（アスレチック・水遊び等）を有する遊具を検討すること。

代替施設案

事例 1：アスレチック遊具(約 90 万)



事例 2：水遊び場(約 5,000 万)



鉄棒

(1) 施設の概要

鉄棒は 2010 年(平成 22 年)に設置された一般的な遊具である。基礎が露出し、一部腐食が見られる。

(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 127 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「低」

一般的な公園施設。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

安全規準に抵触（基礎露出）。



総合評価 …… 『代替施設を検討』

利用者が少なく安全性・健全性も低く、公園では一般的な施設であるため、代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

- ・再整備を計画する中で、全体的な遊具配置等を踏まえ検討すること。

レストハウス

(1) 施設の概要

レストハウスは 12m×16mの建築物であり、作り付けの机やイスが設置されている。設置当初は中央に売店があったが現在は閉まっている。支柱部にクラックが見られ、床部の亀裂やタイルの剥離が見られる。

(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「中」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 306 人であり、利用者数は普通である。

B：価値評価 …… 「中」

利用者アンケートでは「飲食ができる施設が欲しい」という意見が 18 件。子ども・子育て世代との意見交換会でも、同様の意見あり。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

支柱部にクラック。床部の亀裂やタイルの剥離。



総合評価 …… 『代替施設を検討』

一定の利用者がみられ、「飲食ができる施設が欲しい」という意見も多いため代替施設を検討する。

【検討にあたっての留意事項】

- ・再整備を計画する中で、全体的な施設配置等を踏まえ検討すること。

代替施設案

事例 1：四阿の設置（約 300 万円）



事例 2: 売店等の設置(費用は設置する施設による)



飛行機

(1) 施設の概要

飛行機は 1968 年（昭和 43 年）に東亜航空（現：日本航空株式会社）から寄付により設置した。塗装剥離、鋼材の腐食等機体の損傷が著しく、東区役所にて施設点検を行った結果、「危険」と判断したため、周囲に人止め柵を設け、来園者が近づけないよう措置をしている。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 136 人であり、見学者は少ない。

B：価値評価 …… 「中」

イギリスが開発し 1950 年代に近距離旅客機として日本で運行。現在、日本に 2 機しかない機体だが航空機としての価値はほとんどない。インターネット出現数 141 件だが「塗装が劣化」等否定的な意見がある。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

損傷が著しく、補修に多大な費用を要する（R2 時点の試算で約 2,000 万円）うえ、補修を行ったとしても健全性の確保は困難。保存のノウハウが蓄積されていないため、補修や維持管理が難しい。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

利用状況が低く、健全な状態への修繕は困難である。一方でコアなファンが想定されることから売却・譲渡を検討する。売却・譲渡の希望がなければ撤去を検討する。

ジープニー サムロー×2

(1) 施設の概要

ジープニーとサムローは 1989 年（平成元年）のアジア太平洋博覧会・福岡’89 の展示物であり、アジア太平洋博覧会協会の寄贈により設置した。特に珍しいものではなく、塗装剥離や粉塵の付着等車両の劣化が進んでいる。また、部品の入手は難しく、かつ修理ができる技術者が減少していることから、走らせることは困難である。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 84 人であり、見学者は少ない。

B：価値評価 …… 「中」

アジア太平洋博覧会で展示品として博覧会の協会からの寄附であるが、車両の価値は低い。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

車両の劣化が進行。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

利用状況が低く、健全な状態への修繕は困難である。一方でコアなファンが想定されることから売却・譲渡を検討する。売却・譲渡の希望がなければ撤去を検討する。

石碑

(1) 施設の概要

石碑は市制 80 周年を記念して施行された「福岡市民のこぼ」が表記されている。設置年・設置の背景は不明である。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での見学者数は無し。

B：価値評価 …… 「中」

特筆する事項は無い。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

クラックがあり老朽化が進行。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

見学者が少なく、安全性・健全性も低いため、撤去を検討する。

人工池

(1) 施設の概要

人工池は 1967 年（昭和 42 年）に設置され、修景施設として整備されたと考えられる。柵が腐食しており、縁石にクラックが入っている。施設の維持管理が困難なため、給水・循環設備の稼働を停止している。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 23 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「低」

利用者アンケート調査やインターネット出現は無い。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

柵が腐食。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

全ての評価が低いため撤去を検討する。

噴水

(1) 施設の概要

噴水は 1967 年（昭和 42 年）に整備された施設である。かつてはモニュメントがあったが、躯体欠損により給水を停止している。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 114 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「低」

アンケート調査やインターネット出現数は少ない。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

躯体欠損により給水を停止。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

全ての評価が低いため撤去を検討する。

観覧席

(1) 施設の概要

観覧席は 1973 年（昭和 48 年）に、遠足等で来園した小学生が座って交通学習を受けられるように製作したものと言われている。柵（鉄製）が腐食しており、躯体全体（鉄筋コンクリート造）にクラックが入っている。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 183 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「低」

アンケート調査やインターネット出現数は少ない。

遠足等学校行事で交通ルールを学ぶことを想定し製作されたと言われている。

C：安全性・健全性評価 …… 「低」

柵のサビ、躯体のクラック等劣化が進行。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

全ての評価が低いため撤去を検討する。

ローラースケート場

(1) 施設の概要

ローラースケート場は 1989 年（平成元年）に整備された施設である。以前は、用具のレンタルがあったが、サービスをやめており、管理事務所等は撤去済みである。舗装材の劣化が進行しており、手摺は溶接部に腐食が見られる。また、休憩用のベンチは座板部の腐食が見られる。



(2) 施設の評価

A：利用状況評価 …… 「低」

利用状況調査での平日・休日の利用者数合計は 43 人であり、利用者は少ない。

B：価値評価 …… 「低」

アンケート調査やインターネット出現数は少ない。

C：安全性・健全性評価 …… 「中」

特筆する危険性は無い。

総合評価 …… 『撤去や売却・譲渡を検討』

利用状況・価値が低いため撤去を検討する。